

# いわき市大規模盛土造成地 経過観察のための参考資料

## 1 はじめに

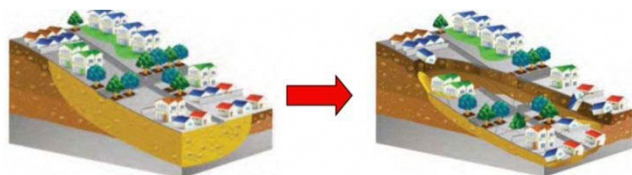
大規模盛土造成地マップは、市民の皆様が大規模盛土造成地の存在を知っていただき、防災意識を高めていただくことを目標として公表しています。活動崩落による被害を軽減するため、宅地の所有者等(所有者、管理者または占有者)のみなさまが日頃から自らの宅地や周辺の擁壁等に目を配り、点検しておくことが大切です。

このマップを参考に点検することで、活動崩落等の宅地災害の前兆となりうる異常を早く発見することができます。

## 2 大規模盛土造成地とは

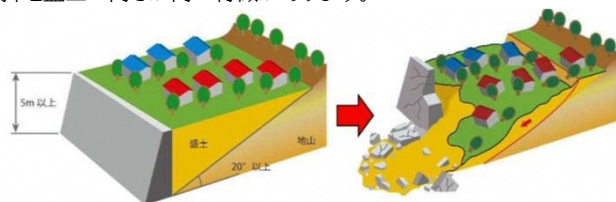
### ■谷埋め型

盛土面積が3,000㎡以上の造成地のことです。谷や沢を埋めた造成地であるため、盛土内に水の侵入を受けやすく、形状的に盛土側面の谷部の斜面が存在することが多い特徴があります。



### ■腹付け型

盛土をする前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、盛土の高さが5m以上の造成地のことです。傾斜地盤上の高さが高い特徴があります。



## 3 滑動崩落とは

活動崩落とは、谷間や山の斜面等において盛土造成されたひとまとまりの宅地が、地震による大きな揺れによって滑ったり崩れたりする現象のことです。

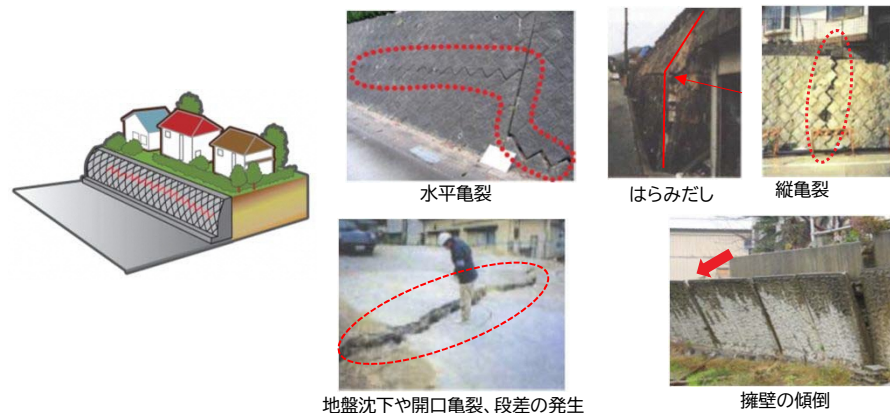
### 盛土全体が崩れる場合

右の写真は、滑動崩落を起こした大規模盛土造成地です。地区全域が崩れ、段差、亀裂、崩壊などの現象がみられました。

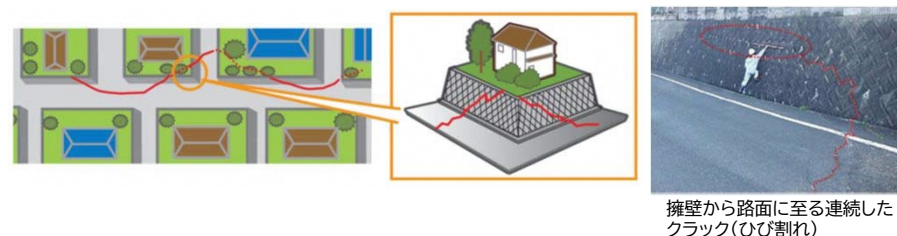


## 4 宅地災害の前兆を見極めるためのチェックポイント

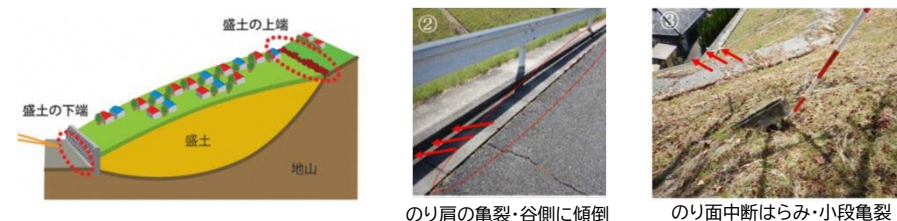
### ■擁壁の長い区間で変状(はらみだしや水平亀裂)が見られる



### ■宅地地盤(道路や側溝を含む)・擁壁の変状が連続している



### ■盛土の範囲が特定されている場合、盛土の上端と盛土の下端部分の擁壁などに変状が見られる、湧き水がある



### ■擁壁がいつも水のしみ出しにより濡れている、コケが生えている



## チェックポイント

### ■擁壁

危険度  
高  
↑  
↓  
低

- 擁壁の長い区間で変状(はらみだしや水平亀裂)と宅地地盤の開口亀裂(幅3~15cm)や沈下(20~50cm)が見られる  
擁壁が明らかに傾倒し、かつ途中に折損が見られる
- 擁壁の目地にずれ(5~50mm)があり、大きな上下のズレ(5~50mm)または左右の開きがある
- 擁壁の長い区間で変状(はらみだしや水平亀裂、傾倒)が見られる
- 擁壁の長い区間で変状(縦亀裂(石積み系:2~20mm、コンクリ系:2~5mm)やずれ、目地開き(5~50mm))が見られる
- 擁壁の目地部にずれがある(5~50mm)

### ■のり面

危険度  
高  
↑  
↓  
低

- のり面の保護工が破壊されている  
全面的な滑り崩壊が発生しており、さらに拡大の可能性がある  
洞穴状や滝壺状にガリー<sup>(注1)</sup>が進展して家屋の基礎に影響を与えている (注1)降雨などで地表面が洗掘されて谷状に出来る溝
- 面的に連続した変状(はらみだし(10~30cm)や亀裂(3~15cm))と宅地地盤の開口亀裂(3~15cm)や沈下(10~25cm)が見られる
- のり面がえぐり取られたようになっていて、放置すると拡大する恐れのあるもの
- 法肩部の面的に連続した亀裂(3~15cm)や沈下(10~25cm)と法尻部の押し出し、隆起(20~50cm)などがある
- 面的に連続した変状(はらみだし(10~30cm)や亀裂(3~15cm))がある

### ■湧水

危険度  
高  
↑  
↓  
低

- 水抜き穴のつまりや破損により排水機能が失われている  
降雨後に水抜きパイプからの排水量が減少していたり、排水が見られなくなっている
- 擁壁の亀裂や目地から水がしみ出し付近にはへこみもみられる
- 排水溝にズレ、壊れているところがある。又は排水溝に沿った地盤にクラック(ひび割れ)が見られる  
擁壁表面が常に湿っている

## 5 宅地耐震化推進事業・いわき市大規模盛土造成地調査事業

平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越地震等では、大規模盛土造成地で滑動崩落が発生し、宅地や公共施設等に甚大な被害が発生しました。そこで、地震による滑動崩落を未然に防止・軽減し、宅地の安全性を確保することを目的として、平成18年に宅地造成等規制法が改正され、宅地耐震化推進事業が創設されました。

いわき市では、大規模盛土造成地の情報を提供するとともに、滑動崩落の要因の有無を調査する変動予測調査を令和2年度より実施しています。危険性が高い大規模盛土造成地については滑動崩落対策防止工事が必要であると判断される場合もありますが、令和4年度までの調査の中で、大地震に対する一定の安定性が確認されたため、早急に滑動崩落防止工事が必要となる箇所はありませんでした。

なお、今後は経年により新たな滑動崩落の前兆となる変状が生じる可能性があるため、経過観察の取組を進めていきます。

## 6 各宅地における「適切な維持管理」にむけて

- ・過去にあった宅地被害の事例のように、地震や大雨の際、老朽化した擁壁が崩れ、近隣を巻き込んだ宅地災害が発生してしまうことがあります。
- ・皆様の財産である家屋や宅地を守るため、宅地所有者の皆様ご自身による擁壁や斜面地の維持管理に努めていただくよう、お願いします。

## 7 大地震に備えるために

大地震からの被害を最小限に抑えるために、日頃から宅地の周辺ののり面や擁壁等の状態を点検することが重要です。さらに、自治会等で行われている防災訓練等に参加し、防災意識を高めていただくことも大切です。

《参考》大規模盛土造成地に関するホームページ等(当資料の引用元・出典)

- ① 被災宅地の調査・危険度判定マニュアル-参考資料-  
<https://www.hisaitakuchi.jp/download.html>
- ② 国土交通省 ガイドライン等  
[https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_tobou tk\\_000015.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_tobou tk_000015.html)
- ③ わが家の宅地安全マニュアル  
[https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_tobou tk\\_000065.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_tobou tk_000065.html)

QRコードからも  
アクセス  
できます!

①



②



③



- 大規模盛土造成地位置のマップは検索の上、WEBで見ることができます -

いわき市大規模盛土造成地マップ

検索

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1579764204313/index.html>



【いわき市のお問い合わせ先】

都市建設部 建築指導課 開発審査係

電話番号:0246-38-9058

ファクス番号:0246-22-7566

WEB:<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/index.html>

